

『Residual Risk低減を目指した糖尿病大血管障害の治療戦略』

心血管疾患のResidual Risk低減のため、高TGと低HDL-C血症の管理は糖尿病大血管障害予防に重要である。更に新たな危険因子の可能性のあるEPAなどの必須不飽和脂肪酸バランスに着目しResidual Risk低減の最適な治療戦略を議論したい。


**第53回 日本糖尿病学会年次学術集会**  
**ランチオンセミナー15**

**日時** 2010年 **5月27日** (木)  
 12:30~13:20

**会場** **第17会場**  
 ラヴィール岡山 6F「フルールの間」  
 岡山県岡山市北区駅元町1-10

**Residual Risk低減を目指した  
 糖尿病大血管障害の治療戦略**

**座長** | 東京慈恵会医科大学  
 名誉教授 **田嶋 尚子** 先生

**演者** | 自治医科大学 内分泌代謝科  
 教授 **石橋 俊** 先生

\*本ランチオンセミナーは事前予約制です。  
 学会ホームページよりセミナー参加の事前登録が必要です。

<共催> 第53回 日本糖尿病学会年次学術集会/持田製薬株式会社

